

牛窓の秋を彩る祭りばやし 牛窓秋祭りが開催

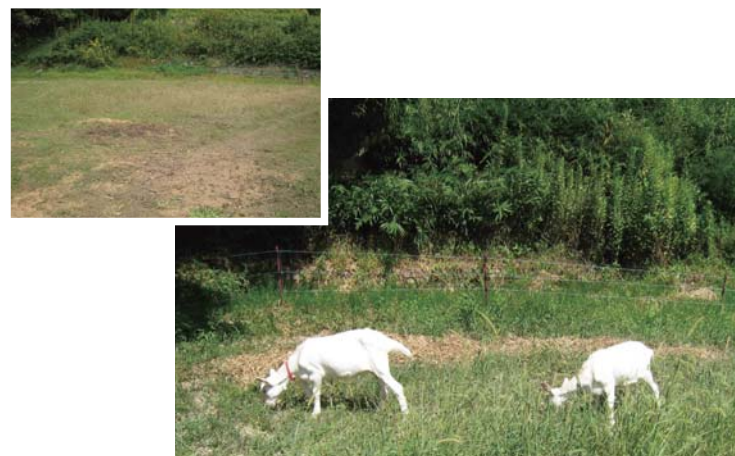
10月24日、牛窓秋祭りが開かれました。午前10時に胴六角の珍しい形をしたみこしが、白装束に身を包んだ前島の男衆に担がれ、牛窓神社(牛窓町牛窓)を出発。御旅所21カ所を巡りました。各地区の船形だんじりや太鼓台も繰り出し、牛窓は祭り一色に。

御霊社(牛窓町牛窓)では、牛窓東小5年の男児が、太刀踊(岡山県重要無形民俗文化財)を奉納。1人は陣笠に袴を着けて太鼓を叩き、2人は男装して太刀を、2人は女装して薙刀を持って、「ハイハイ」と声を掛けながら、前進、後退、転回、切り合いの型を披露しました。



息の合った踊りで観客を魅了した太刀踊(左上)／高々と捧げられた牛窓神社のみこし(右下)

耕畜連携で農地保全 放牧で耕作放棄地を解消



放牧前:「ユキ」と「ミルク」(右下)／放牧後:きれいになった耕作放棄地(左上)

放牧によって雑草を食べさせ農地保全を目指す取り組みが市内で初めて行われました。

9月9日、長船町飯井で雑草が生い茂っていた農地に農業生産法人(株)美和がヤギの放牧を行いました。美和小学校の生徒たちが名づけた「ユキ」「ミルク」の2頭は約8aの農地をきれいにし、現在も農地保全に活躍しています。

また邑久町山手でも地元農家が和牛を放牧し、60日間で60aの農地がきれいになりました。

放牧による耕作放棄地解消に興味のある人は、産業振興課までぜひお問い合わせください。

■問い合わせ先 産業振興課 0869-22-3934

地域活動の活性化を 宝くじ助成金を活用して機器整備

(財)自治総合センターの宝くじ助成金を活用し、8月31日に今城コミュニティ協議会がパソコン、プロジェクター、スクリーンなど視聴覚機器を購入しました。毎月発行しているコミュニティだよりの編集や、文化祭などの交流事業、各種教室などで活用しています。

また、9月27日には、福田地区コミュニティ協議会が、協議会の名前入りのはっぴ、のぼり、旗、テントなどの備品を購入しました。バザーなどのふれあい事業や文化祭などで活用し、地域交流活動の活性化や地域住民の連帯意識の高揚を図ることにしています。



たくさんの人が訪れた福田地区コミュニティ協議会の文化祭

cover photograph



今月の表紙

10月22日からカキの水揚げが始まり、藤田宏行さん(邑久町虫明)の筏でもクレーンで引き上げるとびっしり。その後、家族総出でカキ打ちが行われました。11月23日、道の駅「黒井山グリーンパーク」内の邑久町漁協直売所で邑久町漁協かきの日イベントが開催され、多くの人が冬の味覚を味わいました。

■問い合わせ先 邑久町漁協直売所
☎0869-25-1010(定休日:火曜日)

芸術と文化活動の拠点に 国民文化祭が開催



講演中の八名氏(上)／福岡の大市(中)／ペーパーナイフ作り(下)



華やかな着物に身を包むことができた着付け体験コーナー

国民文化祭の一環として「備前おさふね名刀フェスティバル」が、10月30・31日に、ゆめトピア長船や備前おさふね刀剣の里などで開催され、刀剣にちなんだ数多くの催しが行われました。

「お守り刀前結び着付けショー」では、観客が見守る前で市内の着付け教室の生徒18人が着物の帯を結び、全日本刀匠会の会員が鍛えたお守り刀を身に付けると会場からは大きな拍手が。

また、岡山市出身の俳優八名信夫氏が「悪役一筋50年 ふるさと、日本刀に学んだこと」と題して記念講演を行い、俳優人生を振り返りながら、映画やテレビの裏話で観客を楽しませました。

長船町福岡の市場小路一帯では、中世福岡の市を再現した「福岡の大市」を開催。ずらりと並んだテントで地元の特産品などが販売され、県内外から訪れたたくさんの観光客でにぎわいました。

刀匠による古式鍛錬の公開や子どもたちを対象にした鍔クッキー作りやペーパーナイフ作りなども行われ、参加者たちは、刀剣や地域文化の素晴らしさに触れていました。